

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>海外等の成功事例の紹介も興味深いと思います。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家間でのパネルディスカッションを展開していただければ良かったなと思いました。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の著書等は入り口で販売して欲しいが・・・</li> <li>関係市町村長、議会議員へこの講座の内容を伝えることが、やはり必要ではないか？伝えた後の感想・意見も聞いてみたい。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ケータイをマナーモードにしていない人が多く、不快であった。</li> <li>私語が気になった。（特定の人であるが、ずっとブツブツ言っていた。）</li> </ul> <p>←今本先生でした（最後の質問で思い出しました）</p>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>質疑応答で、「設楽ダムがあったら渇水はどうなっているか」というコーディネーターの発言がありましたが、設楽ダム建設ありきと見えます。</li> <li>テーマの決め方も「建設ありき」ではないか？会場からの質問が短い（5分）</li> </ul>	<p>設楽ダムができたらどうなるかということを考えるのも本セミナーの趣旨に合致していると考え、質問シートの質問として取り上げました。会場からの質問については今後の運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の水銀行は新しい情報としては良かったが、日本、東三河ではあまり役に立つ仕組みではないので、時間ももったいない感じがした。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>外の音がうるさくて、声が聞き取りにくい場面があった。</li> <li>来場者にも発言の機会を与えないと、参加者はストレスが溜まるのでは？質問シートだけでは記載者の思いが伝わらないのでは？</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>年度内+αにあと3回開催する方向となりましたが、設楽ダムに特化した講座になりきれていない点を踏まえてあと3回のテーマ（治水、ダムサイト、地域振興）では「設楽ダムでは」にこだわった課題設定を望みます。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し、宣伝があっても良いのではないのでしょうか？豊川市では防災無線を利用して、各種の案内もされています。依頼するだけでもしてみてわ？</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の運営についてのご意見】

運営についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。今回講座に出席し、色々な意見を聞いて勉強になりました。休憩時間をもう少し短くするなどして、時間を短くする方向で検討すると良いと思います。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富永委員が中立的なコーディネートに努めていただけたのに、余計に蔵治委員が片寄ったコーディネートをしているように見えた。</li> </ul>	<p>富永先生とのバランスを意識しつつ、全体として偏りのないよう心がけてコーディネートしました。（蔵治）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。いつもありがとうございます。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・筒井保博氏は時間厳取して欲しかったです。10分超過。</li> <li>・遠藤崇浩氏は5分超過。途中でも時間が来たらカットするべきではありませんか。</li> </ul>	<p>今後の講座運営の参考とさせていただきます。</p>

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（筒井講師）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>最後の質問に対する回答の一つ 大きな渇水→6000万 m<sup>3</sup>を算出</li> <li>25年度の渇水に対してどれほどの渇水を予測値としたのか具体的な数字で回答下さい。</li> </ul>	<p>質問シートで今回の講演の補足をさせていただきましたので、そちらをご参照ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>筒井氏のレポートNO. 15の取水制限の状況で、S54、S55は1年間全て取水制限あり、事実ですか。H7も、8月～4月取水制限あり、驚きです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム建設主体が講演者では致し方ないと思うが、今年の渇水を強調し、まるで脅しみたいなの筒井さんのお話でした。</li> <li>森林整備とか節水の方法とかもう少し視点を変えた説明をしても良かったかと思います。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊橋市水道の下条取水点の情報、行明のアユ産卵に関する情報が出されたのが良かった。</li> <li>ダムで貯水して水没させることと河川維持流量を確保することの衡量がされていない。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>水銀行ということが、豊川流域で可能な仕組みとは思えない。</li> <li>農業用水へのメーター制という方が分かりやすいのではないか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>流水の正常な機能の維持の為に設楽ダムがどのような役割を果すのか？が、今一つ理解出来なかった。例えば寒狭川系にもう一つダムを造ることによって流水の正常な機能の維持がどのようにやり易くなるのか？などの解説が欲しかった。→パネルディスカッションで理解できました。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊川の源流の段戸山のふもとを歩きますと、山の木々が、かいわれ大根のように土地から溢れているといった状況です。あの木々を半分減らし、広葉樹に替えていけば、ダムなど造らなくても水は足りるのではありませんか？国交省の方、山を歩いてみて下さいませ。</li> <li>オオカナダモの繁茂状況の写真（増えている事）など載せてみえましたけれど、やはりそのまま放置せず、地域の人たちの力も借りて除去すべきだと思います。自分たちの「水」「川」なのですから、皆で大切にしていける事を広報等で知らせていって下さい。</li> </ul>	

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（遠藤講師）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>カリフォルニア水銀行については、興味深いものであった。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「カリフォルニア水銀行の挑戦」は興味深い。また、こういう講師を選んだ方々の視野の広さに感心します。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>平水年に対して水銀行が扱った流量（or総量）は何%ぐらいでしょうか。</li> <li>売り手個々の節水その量の確認は、どのようにして行われているのでしょうか。どのように幹線へ戻すのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラメント川の平均流量（1956年～2006年）＝229億<math>m^3</math>≒1857万エーカーフィート。1991年の水銀行取引量は約82万エーカーフィート。従って82万÷1857万×100＝4.4%となります。</li> <li>・サンホアキン川の平均流量（1956～2006年）＝74億<math>m^3</math>≒600万エーカーフィート。従ってこちらのケースでは13.7%となります。</li> <li>・節水量の確認については作物ごとの節水計算式があります。実際に休作しているかどうかはパトロールを行ったそうです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>カリフォルニア水銀行の考えは、おもしろいと思った。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>カリフォルニア水銀行方式の豊川版（試案）を聞きたかった。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水銀行について豊川にあてはめた場合の可能性、問題点などが聞きたかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水銀行の個別水系への適用の可能性については今後の課題です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊川水系はカリフォルニアよりも水がありますが、他の水系と協力し合う事で更に水の心配が無くなるものと思います。</li> <li>水利権やタテ割りは市民生活には必要のないものですので、より効率の良い水行政を期待しています。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>渇水時の水の売買は日本ではタブーの感があるように思うが、運営チーム委員がこの話題を選択した意図があるのでしょうか。今後、渇水時の調整には、水の売買も選択肢の1つに加えてはどうかという提案が込められているのでしょうか。</li> </ul>	<p>—</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>カリフォルニア水銀行の仕組みは如何にもアメリカ風の割り切った合理性を追跡した成果と思われるが、日本の風土にはそぐわないように感じられる。</li> <li>ただ、日本も水利用のユーザーのソフトパスというか一律の負担割合でなく努力して節水した人には報われる様な仕組みも必要かと思われる。</li> </ul>	<p>—</p>

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご感想・ご意見（遠藤講師）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水があまっている」という表現には抵抗感があるが、「相対的に需要の低い」ところから高いところへ市場を介して水を融通する考えはとてもソフト（やわらかい）だと思う。</li> <li>・需要の変化と関係なく既得権化している農業用水の水利権は見直すべきと思う。</li> <li>・これまで上流域で補償金を支払って新たな水源を生み出してきたが、下流域で（用水などで）補償金？を払って水源を生み出してどうかという遠藤先生の発想はおもしろいと感じた。（実行するにはいろいろ問題があるでしょうけど）</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水銀行という新しい考え方を知ることができ、とても有意義でした。</li> <li>・日本でもこういう考え方を広めていって欲しいと思います。</li> </ul>	—

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご意見（その他、両講師、不明）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回ではあり、グジャグジャ云っていて本日のケジメがない。以下司会（リード）者の努力を望む。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの内に森と海とあるが、海のこと一言もなかった。三河湾は日本一汚れた海との事？</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の農業用水の必要量を再検討すべきだ。その検討の上にダム建設の検討が必要だ。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今夏の渇水問題が話題にされた点は良かった。しかし東三河など一部が水不足（気味）だったのであり、日本全体では洪水など過剰であった。</li> <li>・“水銀行”の方法を応用すべきである。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な意見を聞ける場を設けていただきありがとうございました。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的、概念的な発表で、もう少し具体的内容が聞きたかった。なぜ設楽ダムをつくり、流水の正常な機能用量が6000万t/sも確保する必要があるかなど…。</li> <li>・講師はこれで良かったのか？遠藤さんには少しでも設楽ダムに触れてほしかった。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の梅雨の時期の前にダムの水をいったん減らすということを聞いています、実際どうなのか。</li> <li>・こうしたことにより、空梅雨の場合は大変な事態。</li> </ul>	—

第7回とよがわ流域県民セミナー 振り返りシートについて

【講座の内容についてのご意見（その他、両講師、不明）】

内容についてのご意見等	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西三河方面から蒲郡へ水を引く導管があるが、緊急時以外使えないとあったが濁水は緊急時は無いのですか。緊急時とはどういう場合を言うのですか。何を想定しているのですか。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設楽ダム計画自体への言及が無かったため、計画や財政負担について県民への情報提供という目的に対して不十分を感じた。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（全国的に見ても）ダム建設はメリット、デメリットが生じてしまうものである。豊川流域において、将来を見据えた中で最善策をとるべきであり、利水が大きい当流域においては、効果が大きいものと考えます。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「流水の正常な機能の維持」は極めて多面性があると思っています。従って考えられる限りの情報が公開されてそれを「俯瞰的」に取りまとめてみるとこの多面性が明らかになると考えられます。</li> <li>・「環境アセスメント結果」が物差しになっているように感じた。アセスメント結果に問題がある（ダムの影響範囲を海域に迄設定していない等）と考えるので、会場からの質問と、回答が噛み合わないのはこの点にあると思った。折角技術者が回答者にいるので技術者らしい意見が聞きたかった。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡崎市の水環境創造プランの放送はとっても良いものでしたね。</li> <li>・山の管理を田んぼを、もう一度見直してほしいです。</li> </ul>	—